

オムニパーク（脳槽・脊髄用）の配合変化

本剤はその性格上、配合して使用することは好ましくないが、配合が予想される注射剤との配合変化を試験する目的で、本剤と 3 種類の配合注射剤を 1 対 1（容量比）で配合した液につき、外観、pH、ヨウ化物及び含量について試験した。

その結果、ソル・コーテフ（ファイザー）との配合による変化は認められなかった。強カネオミノファーゲンシー（ミノファーゲン製薬）との配合では pH の低下及びヨウ化物の増加が認められ、レスタミカルシウムコーワ注（興和）*との配合では、ヨウ化物試験において、亜硫酸により黄色となる物質を生成することが認められ、配合変化を起こしていることが分かった。

なお、ブスコパン注（日本ベーリンガーインゲルハイム）との配合変化についても同様に検討し、配合による変化は認められなかった（製品名及び会社名は試験実施当時の名称）。

*：レスタミカルシウムコーワ注は現在販売されていない。